

■こんなお悩みを持つ町会・自治会の皆さんにおススメ！

いろんな助成制度があるけど、
何をすればいいのかわからないし、
申請が難しそう…

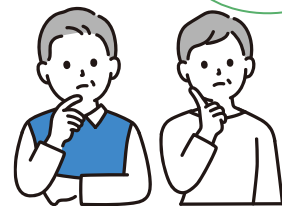
以前は防災訓練をやっていたけど、
みんな高齢になってできなくなった。
災害が起きたときに心配…

防災訓練がマンネリ化。
子どもが楽しく学べる
メニューがほしいなあ…

パソコンが得意な人なら簡単な
作業なんだけど、誰か手伝って
くれる人はいないかな？

突然役員を任されて、
右も左も分からない！

住民は町会に何を求めて
いるんだろう？
どうやって調べたらいい？



■2022年度 その他の事例

■町会のパソコンを買ってイベント申込をデジタル化したい

イベント開催に必要なパソコンを購入できる助成制度を紹介し、イベントの申込フォームを作成してくれるボランティアの募集をサポート。その過程でオンライン打合せの実施も支援。
【まちの腕さき掲示板】

■助成制度の申請の仕方が分からない

掲載サイトから申請書データをダウンロードし、記入項目について解説&下書き作成。

■防災イベントを通じて町会活動の参加者を増やしたい

多くの住民の参加につながる講演テーマを提案し、適切な講師の派遣や周知の工夫のほか、当日運営をサポート。当日までは、助成制度のみに合わせたスケジュール表を作成して準備の進行を支援。

■イベント時に住民同士の交流が進む仕掛けを考えたい

職業上のスキルや経験を持つボランティア（プロボノワーカー）のサポートを受ける制度を紹介。【地域の課題解決プロボノプロジェクト】
イベントのコンテンツや、その後の交流につながる仕掛けを提案。

…など、それぞれの町会・自治会のお悩みに合わせてお手伝いします！
まずは「個別相談会」にご参加ください！



共助推進課 地域活動支援担当
電話:03-6258-1235

ウェブサイト お問合せフォーム



ウェブサイト:<https://www.tokyo-tsunagari.or.jp/chokai/>

お問合せフォーム:<https://www.tokyo-tsunagari.or.jp/chokai/contact/>

町会・自治会から地域を元気に！
東京都・区市町村・(公財)東京都つながり創生財団が実施するパイロット事業です

町会・自治会応援 キャラバン

町会・自治会の「やってみたい」をサポートします！

みなさんの町会で、
「こんなことやってみたい、でも何をしたらいいのかわからない…」
ということはありませんか？

その「やってみたいこと」、企画から実現まで、
行政と専門家が伴走しながらお手伝いします！



1 まずは「個別相談会」でじっくりお話を聞きます

町会・自治会の規模や住民の年齢層、活動状況、立地条件などによって、お困りごとや必要なサポートも異なります。それぞれの町会・自治会の状況をお聞かせください。

※2023年度の支援対象分野：「防災」「デジタル活用」「見守り・多文化共生」「住民アンケート調査支援」



4つのポイント

2 「事業提案書」で企画提案や使える助成制度をお示します

各町会・自治会の役員会等にお伺いして提案内容をご説明することもできます。

3 「事業の実施」をサポートします

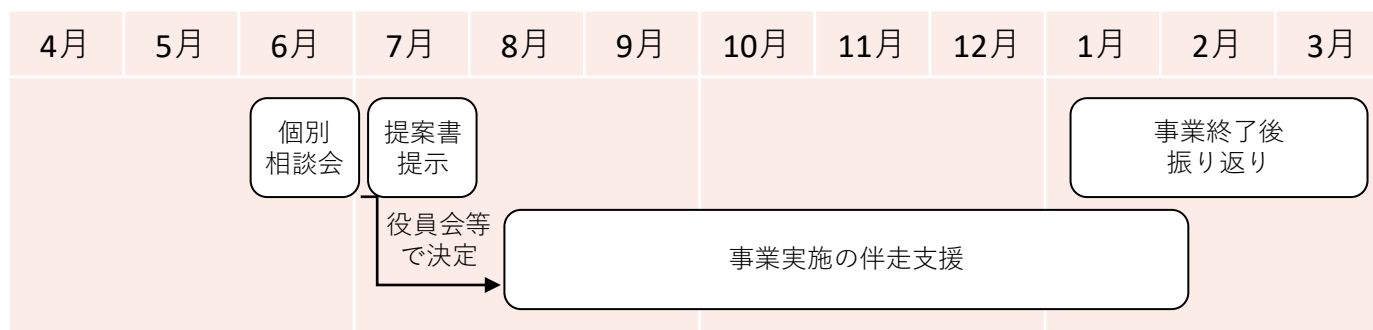
助成金申請書類やチラシ作成のお手伝いのほか、連携できる関係団体などをご提案し、打合せにも同席します。

事業執行までのスケジュール表の作成や、現地での打合せにも参加します。普段はメールや電話などで密に連絡を取り合い、当日も立ち会って事業実施をサポートします。

4 「今後に向けて」をサポートします

助成金実績報告書作成のお手伝いや、継続して実施するにはどういった準備が必要かなどの「振り返り」を行います。

年間スケジュール概要 ※詳細は実施区市町村や各町会・自治会によって異なります。



2022年度 鷺宮西住宅自治会@中野区の事例



6月29日：個別相談会

- ・住民の高齢化によって自治会加入者が減少している
- ・世帯数の4分の1が外国人住民だがコミュニケーションが十分に取れていない
- ・共通課題である「防災」をきっかけに外国人住民と交流する機会を作りたい
- …などのお悩みやご要望を聞き取りました。

8月6日：自治会三役会で事業提案書についてご説明

9月に自治会が実施予定の「防災ミニトレーニング」について、多くの外国人住民に楽しく参加してもらえるようにするための企画をご提案。申請できる助成金情報も併せてお知らせしました。自治会がキャラバン事業のエントリーを決定し、いよいよ伴走支援開始！

8月13日、9月3日：企画内容の打合せ、連携先NPOとの打合せ

外国人住民も参加しやすいプログラムを企画提案し、地域で日本語教室を開催しているNPOとも連携。「やさしい日本語」でのチラシ作成や、外国人住民への周知などに協力してもらうことが決定！メールや電話でも何度もやり取りしました。



9月25日：防災ミニトレーニング開催！

当日はお天気も良く、外国人住民の皆さんも100人以上参加してくれました。起震車や放水訓練を体験したり、携帯トイレの実物を触ってみたい、子どもたちも興味津々！

NPOのスタッフがそばについて、分かりにくい日本語をフォローしました。



10月8日：関係者全員で振り返りミーティング実施

参加者アンケートの結果を共有し、良かったことや、まだ改善できる点などを話し合いました。今後に向けて、関係者同士の更なる連携の意思を確認できました。



参加者の声(アンケート結果)

- 防災ミニトレーニングはどうでしたか？：良かった・まあまあ良かった 100%
- 「防災」についてもっと知りたいと思いますか？：思う・まあまあ思う 96.2%
- もっと「自治会」に参加してみたいと思いますか？：思う・まあまあ思う 92.5%

写真提供:東京都

「子どもも楽しめる！防災ミニトレーニング」

主催：鷺宮西住宅自治会
 協力：野方消防署、野方警察署、(社福)中野区社会福祉協議会、中野区国際交流協会、NPO法人HATI JAPAN多文化多言語の子ども発達支援、中野区、(公財)東京都つながり創生財団